

旭岳エコツーリズムセンター建設へ



エコツーリズムの第1回モニター講座「クロカンスキーとキトピロラーメンとごみ拾いと」。夏見円選手(JR北海道)を講師に、クロスカントリースキーの本格講座(5月13日、旭岳クロスカントリースキーコースで)

環境省は大雪山旭岳に仮称「旭岳エコツーリズムセンター」建設を目指すことになりました。2年後の大雪山国立公園指定80周年に合わせて完成の予定。道内で先行している知床地域に次ぐエコツーリズムの中核施設を目指します。

北海道地方環境事務所東川自然保護官事務所によると、今年町内に関係団体が参加するエコツーリズム推進協議会を立ち上げ、センター建設に向けて、場所、機能、規模を具体的に検討決定する予定です。基本設計、具体的設計を経て、早

ければ来年度から建設に着手する見通しです。建設候補地は、旭岳ロープウェイ山麓駅の隣接地。木造250平方メートルを想定しています。



第1回モニター講座で特別に復活した名物・キトピロラーメン(ヌタブカウシュベ)

エコツーリズム推進法(2008(平成20)年4月施行)に伴って、道内2番目のセンターとして実現機運が高まったものです。

地域の自然環境保全に配慮し、持続可能な「エコツーリズム」を推進するに当たって各種の山岳型体験観光モデルを選定、紹介、運営する機能を充実させます。

同センターの本格運営を目指して、ひがしかわ観光協会(浜辺啓会長)は今年、エコツーリズムのモデル事業を商品として開発するため「カメラ&ヘルシートレッキング」「登山道整備と保全」「岳越えキャンプ」「女子旅!サイクリング&クッキング」など、年間10プラン以上のモニターツアーを試行スタートします。

恒例ドライブブラリー、連休最終日でも終わら

5月3日から5日までのゴールデンウィーク後半3日間、連休恒例の「2012みちくさドライブブラリー」で町内がにぎわいました。

東川商工会が主催しました。町内の飲食店、クラフト工房などを巡り、日

帰り温泉も満喫してもらおう、という企画。毎年常連という旭川、札幌の家族連れなど658人が来町しました。道の駅・ひがしかわ道草館を起点に、期間中3日間有効なチケットを購入して町内を巡るスタンプブラリー。連休後

半の3、4両日とも好天に恵まれず、前年より48人減の参加者にとどまりました。しかしアウトドア用品店の開店効果と相まって若い年齢層の参加者が増えたようです。

